

はしもと橋添架管防護工事

特 記 仕 様 書

春日那珂川水道企業団

第1章 総則

1. 適用範囲

本仕様書は、春日那珂川水道企業団（以下「甲」という）が発注する「はしもと橋添架管防護工事」の施工にあたって請負者（以下「乙」という）が遵守しなければならない工事の仕様を示すものである。工事の施工にあたっては、関係法規、その他特別に定めるもののほかは、すべて本特記仕様書に準拠しなければならない。

2. 工事概要

橋梁添架管防護材

1 式

第2章 施工

1. 施工範囲

本工事の施工範囲は、本特記仕様書及び設計図面に基づき、設備の設計、製作、据付、動作確認までの一切とする。

2. 第三者への措置

本工事施工区間に隣接する民家に関しては、日常生活に支障のないよう努めなければならない。また、騒音・振動の発生を伴う作業についてはその対策に十分配慮するとともに、関係法規を遵守し地域住民との協調をはかり、工事の円滑な進捗に努めなければならない。

3. 工事用電力

本工事に使用する電力設備及び電気料金は、乙の負担とする。

4. 仮設足場等

(1) 防護材の据付施工は、河川内に単管足場または枠組足場等を設置し、人力での施工とすること。

(2) 足場については、河川の流水阻害等を勘案し、以下の事項に留意して施工を行うものとする。

1. 降雨が予想される日は作業を避け、河川の水位が低い晴天時に施工を行う。

2. 施工中に降雨が発生した場合は、直ちに足場を撤去し、施工を中断する。

3. 施工時間帯以外は、河川内に足場がない状態にするため、作業日当日に毎回足場を設置し、作業終了時に撤去すること。

4. 河川全幅の2/3程度は常に足場がない状況を保持するため、足場の設置範囲は、河川全幅の1/3程度とし、3分割に区分して施工を行うこと。

第3章 製作

1. 一般事項

- (1) 工作図面により正確な原寸を描き製品加工に正確を期するものとする。
- (2) 仮組立寸法許容誤差については、乙の社内検査基準に基づき行うものとする。
- (3) 工場における製作加工の過程を記録写真に整理し、甲に提出するものとする。
- (4) 製品は、亀裂や傷等の欠陥を生じないよう十分な品質管理を行うものとする。

第4章 据付

1. 一般事項

- (1) 据付に当たっては、順序方法等を定め監督職員の承諾を受けた後、手違いの無いよう留意すること。
- (2) 据付上の仮設備並びに基礎埋込金物の芯出及びその他の事項については、乙において実施するものとする。
- (3) 据付にあたり、土木構造に支障又は損傷を与えた時は、乙の責任において復旧するものとする。
- (4) 据付にあたり、施工後検査困難となる箇所は写真等により確認できるようにしなければならない。
- (5) 組立に際しては、部材の接触面を清掃し、部材を損傷しないように注意しなければならない。
- (6) 組立に際しては、わん曲その他に不適当な部材を発見した時は、監督職員の指示に従い直ちに修理又は交換しなければならない。

2. 使用材料

本据付工事で使用する主要材料は JIS 又はその他関係する規格、基準に適合したものを使用するものとする。

第5章 その他

1. 荷造輸送

- (1) 各製品は運搬過程において変形、破損が生ずることのないように完全荷造りとする。
- (2) 運搬等において、一般公共物及び住民等に損害を与えた時は、乙の負担において直ちに適切な処置を取り、解決を図るものとする。

2. 定めなき事項

本仕様書に定めなき事項又は本工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。